

◎テント山行の装備について(春～秋)

山登りにはいろんなジャンルがあり、最終的には自分に合ったスタイルを探して欲しい。しかし標準的なレベルアップはハイキングから始まって、小屋泊まり～テント泊まりによる縦走登山へと発展してゆくであろう。ここではテント泊まりの装備について考えてみよう。まず大切な事は、多少高くとも、良い物を選ぶことである。

①テント

◎基本的には会のテントを利用すればよい。自分のテントが欲しくなったら次の点に注意して購入しよう。
 ・いろんな種類が各社より出ているが、耐風性、耐雨性に優れ、かつ張りやすい構造の物。生地としてはゴアが最適であるが、値段は高い。大きな買い物になるので、張ってあるテントを観察したり、ベテラン会員に相談しよう。

②シュラフ

◎オールシーズン山登りを目指す人は3シーズン用と冬山用は揃えたい。素材は羽毛が最良である。一生物なので多少高くとも、良い物を買おう。私の冬用のシュラフは30年近く使用した。
 ・3シーズン用:春から秋のテント泊にはこれ1つでまかなえる。化繊綿でなく、羽毛を薦める。軽くてコンパクトに収納でき、ザックの小型、軽量に寄与できる。
 ・冬用:本格的に冬山に挑戦したいという人は、-20℃位迄の羽毛製品を買っておけば近隣の八ヶ岳～北アルプスの冬山に通用する。

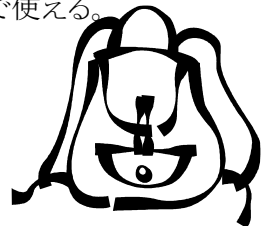


③シュラフカバー

◎素材はゴアを選ぼう。シュラフを濡らさない事が、絶対条件である。これ1つで3シーズン～雪山で使える。

④エアーマット

◎これも必需品で、寒さや下地の悪さをカバーしてくれる。全身用は必要なく、1.2m位で肩から臀部下迄あれば実用的である(足下にはザック等を置く)



⑤銀マット

◎テントの底に敷く。ホームセンター等で売っている物で間に合う。厚さは2～3mm程度で良い。共同装備に近いが個人で持つ。寸法は1m×1.8m位あればよい。収納には知恵が必要。

⑥サブザック

◎荷物を置いてのアタック等に便利。ナップザックよりややしっかりした物が便利である

⑦食器類

◎食事当番がどの程度の食事を用意してくれるかにもよるが、組合せ式でオワンが2個で蓋付きの物が良い。素材はアルミやプラスチックどちらでもよい。ステンレスは熱伝導が低く食べ易いが重いのが欠点である。大きさは直径が10cm位が標準。
 ◎箸は割り箸も便利に使えるが、分割収納できる物もあり便利である
 ◎小型の折りたたみナイフやライター、食器拭きのペーパーなど一緒に収納、小さなポーチに入れておくと便利である。



⑧水筒

◎自分用:1ℓ～1.5ℓ位は確保したい。500ccのペットボトルをベースに×3や、1ℓのプラティパスの組み合わせ等。
 ◎共同用:2ℓ程度のプラティパスが便利に使える。容器カバーが有ると結露しないで便利である。



⑨ヘッドランプ

◎もう殆どの方がLED化は済んでいると思うが、電球式の方は是非変えて欲しい。LED化により電池寿命は飛躍的に伸びるし、調光もでき、かつ小型軽量である。
 ◎持っていて便利なのが、小型ライト。100円ショップ等で買えるので、1つホーチ等に入れておいて欲しい。

⑩バーナー、コッヘル

◎バーナー:これらも当初は会や先輩達の物を利用すれば良いが、便利なので自分用を揃えたい。ボンベの上に取り付けるタイプより、写真の様な下置きタイプが安定性が良い。現在非常にコンパクトなタイプも出回っているので先輩達の持ち物を参考に購入を検討して欲しい。
 ◎コッヘル:色々あるが、できればチタン製が軽くて良い。但し、底が焼ける場合があるので注意。



⑪軽アイゼン

◎春先の残雪の有りそうな山や、雪渓の登り下りにはアイゼンが必要である。4本爪もあるが殆ど役に立たない。必ず6本爪を購入してください。

⑫行動食、非常食

◎行動食:行動中すぐ食べられてエネルギーが補給できる物で、経時変化の少ない物。パンや、大福など便利である。むすびも良いが、日持ちを考慮しよう。
 ◎非常食:常にザックの定位置にストックしておこう。羊羹、アメ、乾燥フルーツ等自分で工夫しよう。



⑬その他便利グッズ

◎今までの経験上、あって便利な物を列挙すると、ウエットテッシュ、予備帽子、ポカリ粉、睡眠導入剤、ステロイド入り軟膏、テーピングテープ、ボンベ台、簡易七徳(ナイロンザイル紐、針金、小型工具、バンテリン、アミノバイタル顆粒、エマーゼンシーシート、赤布等)、岩塩、バンテリン、など

⑭雨具、靴、ザック、ウェア等

◎これらは既に「新人短信豆知識No1～No3」に記して有るので参考にして欲しい。